

「立場を決めて話し合おう」（５時間扱い）

ねらい：立場の違いを明確にして話し合うことで、考えを深めていく。

< 1 時 > ディベートの進め方を確認（立論、反論、質問、ジャッジの仕方等）

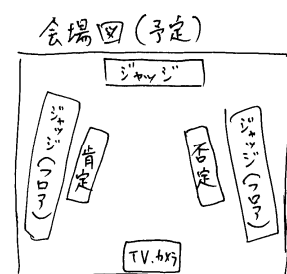
< 2 時 > グループ活動（論題決定、事前準備）

< 3 時（本時） >

- ・ 討論ゲームを行う
- ・ 6 人×6 班（3 班で1 組：うち1 班がジャッジ、残りの3 班はフロア）
- ・ 論題「A：男鹿に大型レジャー施設をつくるべきである。」
「B：ドラえもんは、22 世紀へ帰るべきである。」
- ・ ジャッジとフロアの生徒に2 色のカードを渡す（ジャッジ用）

本時の流れ

導入 5 分	進め方の確認 諸注意
展開① 1 5 分	論題①を確認 肯定側立論→否定側反駁→作戦タイム→否定側立論→肯定側反駁 （2 分）（2 分）（2 分）（2 分）（2 分） →ジャッジ（根拠を含めて）→フロアのジャッジ
展開② 1 5 分	論題②を確認 肯定側立論→否定側反駁→作戦タイム→否定側立論→肯定側反駁 （2 分）（2 分）（2 分）（2 分）（2 分） →ジャッジ（根拠を含めて）→フロアのジャッジ
まとめ 1 5 分	（森合先生から） ①②それぞれのディベートのジャッジと、ジャッジ役の生徒への評価・アドバイスをしていただきたいと思います。併せて、ディベートの必要性についても御指導いただければ幸いです。



< 4 時 > ディベート（役割交代）

< 5 時 > //